

## 週日の説教

金 大烈 神父 2011年8月9日(火)

### 《99匹の羊と1匹の羊 ～どんな時にも安心して頼れるイエス様～》

今日の福音(マタイ 18・1 - 5、10、12 - 14)にはメッセージが二つあります。

一つは、“私たちが天の国に入るためには、自分を低くしなければいけない。いわゆる謙遜な心を持たなくてはならない。”ということです。もう一つは、“小さくされている人々を受け入れなくてはならない。”ということです。

この二つのことを困っている人、頼るものがない人のために、いつも意識して持つべきだと思います。

今日は、少し違う話をしてみます。今日の福音には、100匹の羊が出て来ましたね。そして羊飼いは一人でした。

先ず、羊飼いの立場になってみましょう。100匹の羊の中の1匹を失ってしまったら、皆様ならば99匹を残して1匹を探しに行きますか。それとも、99匹も大切なものだから、いなくなった1匹は諦めて、99匹をきちんと守ることに集中しますか。「99匹はそのままにして、1匹を探しに行く。」と思う人は手をあげてください。では、「いなくなった1匹のことに心は痛むけれど、残っている99匹をきちんと世話しなくてはならないから、99匹を守る。」と思う人はいますか？99匹を守る人のほうがずっと多いですね。だから、イエス様と私たちでは、数え方が違うのです。

次に、100匹の中の1匹の羊になってみましょう。皆様が羊ならば、100匹の中の失った1匹を探しに行く飼い主が立派に見えるのでしょうか。それとも1匹のことは諦めて、99匹と共に頑張る飼い主が立派だと思うのでしょうか。どちらの飼い主が尊敬できる飼い主になりますか。「失った1匹を探しに出かける飼い主が尊敬できる。」と思う人は手をあげてみてください。では、「1匹は諦めて、残っている自分たちのために頑張る飼い主が尊敬できる。」と思う人は手を上げてください。1匹を探しに行く飼い主を尊敬する人が多いですね。

でもそれでは、矛盾ではありませんか。先ほど、羊飼いの立場で質問をした時には、“99匹を守らなければいけない”と思う人が多かったのに、羊の立場になると、“1匹を探しに行く飼い主を尊敬する”と思うのはなぜですか？理由は簡単です。それは、いつ自分がいなくなった1匹になるかもしれない、と思うからです。だから、1匹を探しに行く飼い主を尊敬する気持になるのです。私にどんな事があってもその飼い主は私を探してくれる、という気持があれば安心します。しかし、1匹を諦める飼い主ならば、もし私に何かあった時にもあのように見捨てられるかもしれません。だから、その飼い主は尊敬できない気持になるのでしょうか。

よく考えてみれば、イエス様の数え方と私たちの数え方の違いというより、イエス様の数え方が賢いのです。私たちの数え方がおろかなのです。そういう福音です。

今日の福音を読んで考えなければいけないことは、「私たちには、“いつも安心できる、どんなことがあっても信じて頼れるイエス様が一緒にいてくださる”という気持ちを強く持つべきだ」ということです。

では、飼い主が1匹を探しに行ってしまったら、99匹はどうなるのでしょうか。飼い主は、99匹を信頼しています。1匹を探しに行った方が、残る99匹も安心させると分かっています。そういう意味で、私たちはもっと賢明な信仰を持つべきではないかと思ってみました。

先ほどの二つの質問には矛盾した答えがありましたね。それを一つにしてください。

ありがとうございました。